

授業科目 クリティカル・周手術期看護学演習

【担当教員名】 荒木 玲子 栗原 弥生 渋谷 優子 新谷 恵子 阿部 勝子 石山 香織	対象学年 2	対象学科 看護
	開講時期 後期	必修・選択 必修
	単位数 1	時間数 30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】
クリティカルケア・周手術期看護を行うために必要な知識と技術を学び、適切なケアを習得する。

- 【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】
1. クリティカル・周手術期の状態にある対象を理解する。
 2. クリティカルな状況にある対象に必要な援助を列記できる。
 3. クリティカルな状態にある対象への援助の知識を生かし、実際の援助を体験する。
 4. 周手術期にある対象を理解し、必要な援助を列記できる。
 5. 周手術期にある対象への援助の知識を生かし、実際の援助を体験する。
 6. 演習を通して、クリティカルケア・周手術期看護を実践する準備をする。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション（授業の進め方・演習について） 周手術期・術前の看護に必要な知識と技術（術前アセスメント）	1.4 5	講義
2	周手術期・術前の看護に必要な知識と技術（術前オリエンテーション・手術当日の看護）	1.4	講義
3	周手術期・術前練習の実際	5.6	演習
4	周手術期・手術室看護に必要な知識と技術（手荒い法・グローブテクニックなど）	5.4	演習
5	周手術期・手術室看護に必要な知識と技術（手術に必要な体位など）	5.6	演習
6	周手術期・術後の看護に必要な知識と技術（病室の準備・術直後の観察と援助）	5.6	講義・演習
7	周手術期・術後の看護に必要な知識と技術（合併症予防のための援助）	4.5	演習
8	周手術期・術後の看護に必要な知識と技術（合併症予防のための援助）	6	演習
9	クリティカルケアに必要な知識と技術（クリティカルケアに必要な患者の病態と看護）	1.2	講義
10	クリティカルケアに必要な知識と技術（クリティカルな状態にある患者のアセスメント）	1.2	講義
11	クリティカルケアに必要な知識と技術（気管内挿管・心電図、その他）	3.6	講義・演習
12	クリティカルケアに必要な知識と技術（気管内吸引・輸液ポンプ、その他）	3.6	講義・演習
13	クリティカルケアに必要な知識と技術（人工呼吸器装着中の患者の看護）	3.6	講義・演習
14	クリティカルケアに必要な知識と技術（救急蘇生法の実際・AEDなど）	3.6	講義・演習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	周手術期看護論	雄西智恵美 編集	ヌーベルヒロカワ	2415円
	急性期看護論	池松裕子編集	ヌーベルヒロカワ	2520円
参考書	周手術期看護1、周手術期看護2 竹内登美子 編著 医師薬出版 看護技術ベーシック 藤野彰子：監修 医学芸術社			
その他の資料				

【評価方法】 定期試験 60% レポート 30% 出席10%で評価する	【履修上の留意点】
---	-----------